

3.9.4 研究推進部門 標準化推進グループ

グループリーダー 榎田孝一郎 ほか6名

国際標準化活動の推進

【概要】

NICTの研究成果が実社会において広く活用されるよう、研究成果の社会還元の一環として、国際標準化活動の強化、推進を行っている。具体的には、国際標準の獲得を念頭においた研究開発を推進するとともに、国際電気通信連合（ITU）をはじめとする国際標準化機関や各種フォーラム活動等へ参画することにより国際標準化活動に寄与している。また、公的機関としての中立的な立場から標準化提案の国内での取りまとめを行い、我が国の国際標準の獲得を推進している。

標準化推進グループでは、これらの取り組みを推進するため、以下の業務を行っている。

- (1) NICTの標準化活動の現状や動向の把握
- (2) 標準化活動に関する調査の実施
- (3) 標準化活動に関する人材育成施策の実施
- (4) 重要技術分野におけるフォーラム活動等の支援

【平成22年度の成果】

- (1) NICTの標準化活動の現状や動向を把握した。NICT全体で平成22年度中に各種国際標準化機関に提出した寄与文書は、353件であった。
- (2) 国際標準化に関する重点技術分野である「スマートグリッド」「健康管理・環境・教育クラウド」の各分野について標準化活動の動向調査を行った。
- (3) 標準化活動に関する人材育成の一環として、NICT内の研究者に対して国際標準化に関する最新事情の周知・啓発を目的として標準化勉強会を平成22年11月、平成23年2月、3月の3回実施し、標準化に実際に携わっている外部専門家の講演を行った。
- (4) 「新世代ネットワーク推進フォーラム」のIPネットワークワーキンググループ事務局を務め、IPネットワークの標準化の推進に寄与した。

